

あ・と・が・き

今年の日高は例年に無く雪解けが遅かったため、屋外馬場の調整作業の始まりが遅れてしまいましたが、ほぼ前年並みのオープンにこぎつけることができました。なお、直線砂場馬は路盤改修工事のため約1ヶ月供用が遅れ、利用者の方々に不便をおかけいたしました。今後とも良好な馬場状態をご利用いただけるように努めてまいります。

4月12日に入講した研修生(23期生)は騎乗技術のレベルに合わせた3班に分かれ、覆い馬場での騎乗訓練から始まりました。5月からは全員が一緒になり、屋外の角馬場での合同訓練に移行し、全員揃っての走路騎乗に向けて努力しております。騎乗技術の難しさを実感している今日この頃です。(Y.H.)

「たづな」欄は古文書に造詣の深い元馬事文化財団専務理事の高橋正彦氏に寄稿していただきました。馬文化の歴史の浅いわが国においても、馬に対する思い入れは深く、いろいろあります。私達も馬文化の発展に貢献できれば幸いです。

「調査研究」欄は昨年の上勝地区における講演会の発表演題です。誌面の都合上、馬のライフステージ別栄養管理について、子馬編と繁殖牝馬編の2回に分けて掲載します。皆さんの参考になるとと思います。

強くて丈夫な馬をつくることは競馬関係者の夢です。JRA 総研ではプロジェクトを組んで、この研究に取り組んでいます。「サイエンティストからの提言」欄は科学的な裏付けを基に競走馬の能力向上のための調教を如何に行うか、そしてそれに携わる馬のスポーツドクターの養成について寄稿していただきました。

「やさしい育成技術」欄の屈腱炎とはどのような病気か、笠嶋研究役のわかりやすい解説で、ご理解いただけたと思います。愛馬の日頃のケアに役立てていただけると幸いです。

「BTC 研修生のページ」欄を新設しました。今後も、研修生の動向をできる限り、お知らせしたいと思います。(H.H.)